

# 法律論叢第 83 卷 1 号

2010 年 9 月 30 日刊行

掲 載 内 容	(頁数)
<b>【論 説】</b>	
完全性利益の侵害と契約責任構造 — 契約債務関係の構造、帰責根拠、不法行為規範との関係を中心に—	長 坂 純 (1)
「代理なる法律行為」における代理人の意思作用 (二)	伊 藤 進 (45)
国家管理のもとでの日本の大学の展開と崩壊 — 「大学令」の公布から「第二次世界大戦終了時」まで—	吉 田 善 明 (103)
昭和四九年商法改正と法制審議会商法部会小委員会 (三) — 取締役・取締役会—	三 枝 一 雄 (177)
「純粋経済損失」に関する学説の検討 — イギリス法における議論を中心に—	吉 本 篤 人 (269)
<b>【翻 訳】</b>	
アルミン・エングレンダー「道徳的正当性を法的妥当の条件として 捉えることは可能か—認識論的批判—」(Armin Engländer, <i>Moralische Richtigkeit als Bedingung der Rechtsgeltung?</i> <i>Eine erkenntnistheoretische Kritik</i> , in : ARSP 90, 2004, S.86-97.)	増 田 豊 (303)
<b>【資 料】</b>	
明治法律学校機関誌にみる法典論争関係記事 (六・完)	村 上 一 博 (331)
わが国における法律相談利用の実態	村 山 眞 維 (458)